

利賀っ子だより



R4. 3. 23

今年度も明日を残すのみとなりました。

5年生の2人は、来年度の山村留学生を迎える会の準備をしていました。「これ(卒業生の)Eさんに作り方を教えてもらったんですよ。」と丁寧に切った折り紙でプログラムを飾っていました。6年生から学んだことを早速と活かしている様子に、最高学年としてがんばっていかこうとする気合を感じました。



【教えてもらった方法で!】



【話の聴き方も成長しています】

中学年は、図画工作科の授業で作った作品の紹介をしていました。

話す人に体を向けて、一言ももらさないで聴こうという思いが伝わってきます。毎日の学習の積み重ねが、話の聴き方にも表れていることを感じました。

朝から小雨が降っていた日の玄関です。子供たちの傘がきれいに巻いて傘立てに入れられていました。代々受け継がれている利賀っ子のよい伝統として、「傘は巻いて片付ける」というのがあります。先生に指導されなくても、上の学年の様子を見て学んでいく上品な利賀っ子です。



【傘の使い方にも利賀っ子らしさ】



【ALTの先生とのお別れ式】



【今年度最後の読み聞かせ会】

年度末ということで、「今年度最後」となる活動が毎日のように続きます。その一つ一つに丁寧に向き合い、学習の成果を確かめたり、感謝の気持ちを伝えたりする子供たちの様子に安心するとともに、その裏にある先生方のご指導にもありがたいものを感じています。

(高田 公美)